



J A 多気郡は
自己改革
に取り組んでいます
—— 令和7年度 実績報告 ——

JAの主人公は組合員のみなさん

協同組合(JA)は、同じ目的を持った人々が集まり、組合員となることで成り立っている組織です。正組合員は、農畜産物の生産や販売、生産資材の購買などに協同の力によって取り組むことで、豊かな農業を育むことができます。地域の農業を豊かにすることは、日本の食と農を守ることに繋がります。農業を通じて地域に貢献する主人公、それがJAの正組合員です。

准組合員は地域の農業を豊かに

JAには信用や共済、ガソリンスタンド、高齢者福祉などさまざまな事業があり、農業に直接関わらなくても、これらを利用することで准組合員となることができます。また、地域農業を豊かにするためには、農畜産物を食べる消費者の理解も必要です。准組合員は、正組合員と共に食を通じて農業を育み、豊かな地域社会を築くJAの大切な仲間なのです。

私たちは組合員、地域のみなさまに必要とされるJAであり続けるため、
常に一步先を目指し自己改革に取り組んでいます。



理念・めざす姿・基本方針

① 理念

農業と自然を守り、豊かな暮らしと明るい地域社会づくりに貢献します。

② めざす姿

- 1 持続可能な農業の実現
- 2 協同組合としての役割発揮
- 3 豊かでくらしやすい地域共生社会の実現

③ 基本方針

1 農業生産の拡大・農業者の所得増大の実現と県産農畜産物の安定供給への貢献

地域農業振興計画の高度化や新たな品目の拡充、米・麦・大豆生産振興方針を計画的に実践するとともに、農業経営に配慮した「環境調和型農業」を段階的にすすめることで、持続的な生産振興を図ります。また、「健康増進」をキーワードに直売所を基点とした県産農畜産物の消費拡大を図り、地産地消・国消国産を推進します。さらに、補助事業の情報提供等により農家組合員へ出向き・出迎える活動の強化につなげます。以上を踏まえ、多様な農業者の活躍と連携により、“農業生産の拡大”を通じて“農業者の所得増大”につなげることで、多彩な農業が調和しつつ持続的に維持・発展し、県産農畜産物の安定生産・安定供給を通じて地域の食を支えている姿を目指します。

2 人と組織が成長する持続可能なJA経営の確立

今後も引き続き自己改革を実践するため、環境変化を見通し、事業の収益性・経営の健全性を確保するための戦略と、これを実現する経営管理手法などの経営要素を整備・強化し、着実に成果が表れている姿を目指します。

3 組合員・利用者とともに取り組む組織・地域の活性化

組合員や利用者との対話を通じてニーズを把握し、豊かな暮らしの実現に貢献するとともに、「JAファン」の拡大につなげます。さらに、組合員の声に基づいた総合事業と協同活動を展開することで、組合員およびその次世代層との関係性を深めるとともに、地域共生社会の一員として多様な関係者と連携し、“地域の活性化”に貢献している姿を目指します。

総合事業

J Aは、下記のように、多様な事業を総合的に展開することで、地域農信用事業や共済事業などを含めた総合事業だからこそ、営農指導員の

営農指導事業



営農に関する技術指導や相談等、組合員の営農支援のための活動を行っています。

農業経営事業



担い手が不足する地域の農地を中心に農業経営、農地維持を行っています。

販売事業



市場に有利販売ができるよう、農産物をまとめた数量で売る「共同販売」を行っています。

購買事業



農業や生活に必要な安全で品質のいい資材を大量購入等で安価に仕入れ、安定的に供給しています。

利用事業



個人では所有できない大規模な乾燥設備や搾油施設を利用できるように設備運営しています。

事業実績の推移

(単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
信用事業総利益	942,130	962,017	987,505	837,226	752,938
共済事業総利益	466,921	435,049	409,299	384,272	380,253
購買事業総利益	308,544	241,245	248,453	237,376	224,090
販売事業総利益	50,853	54,943	55,409	57,176	58,143
その他の事業総利益	91,320	102,010	93,182	90,727	93,173
事業総利益(合計)	1,859,770	1,795,270	1,793,852	1,606,782	1,508,593
事業管理費	1,641,765	1,609,319	1,596,909	1,495,294	1,457,991
事業利益	218,005	185,951	196,942	111,488	50,602
事業外損益	58,552	88,985	71,106	58,209	59,910
経常利益	276,557	274,937	268,049	169,697	110,513

の意義

業の振興や地域づくりに努めています。農業関連事業は、配置や大規模な農業施設投資を実現できています。

生活指導事業



組合員のライフスタイルに合わせて
たぐらしの活動を提案し、地域の
活性化に取り組んでいます。

信用事業



地域の金融機関として、貯金・融
資・為替業務などの金融サービス
を提供しています。

共済事業



助け合いの理念に基づき「ひと・
いえ・くるまの総合保障」を提供
しています。

葬祭事業



地域や寺院の慣例を重視し、小規
模家族葬儀からホール葬儀まで
様々なプランを提案しています。

介護事業



地域の介護事業所と協力し、医療
と介護の連携強化を行い、信頼さ
れるサービスを提供します。

組合員や利用者との対話を通じてニーズを把握し、豊かなくらしの実現に貢献するとともに、「JAファン」の拡大につなげます。自己改革を実践するため、環境変化を見通し、事業の収益性・経営の健全性を確保するための戦略と、これを実現する経営管理手法などの経営要素を整備・強化します。

人と組織が成長する持続可能なJA 経営

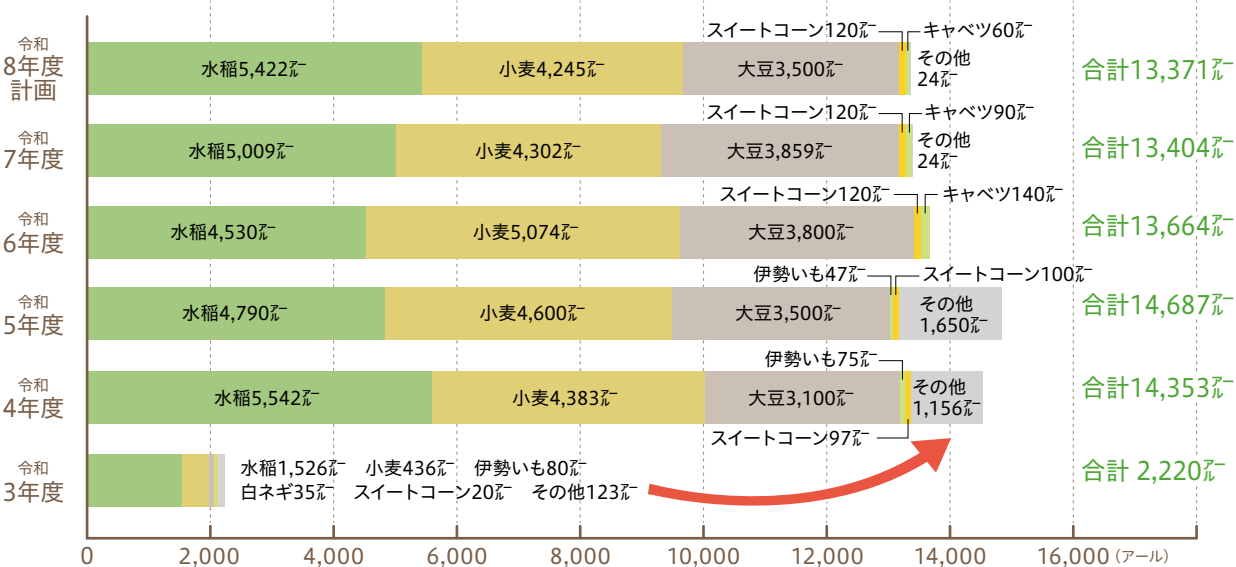
組織・地域の活性化

JA出資型法人～株式会社多気郡アグリサポートの取り組み



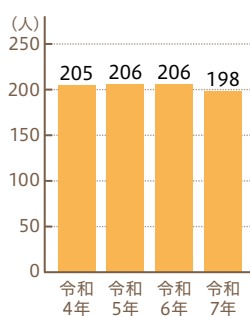
株式会社多気郡アグリサポートでは、高まる担い手支援の要請を受けて多様なニーズに応えてきました。また、行政機関や三重県農業大学校との連携による新規就農者の育成など、今後も積極的な活動を継続していきます。

令和8年度の栽培計画とこれまでの実績

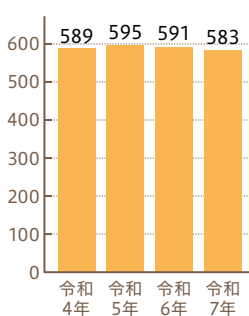


農地受託明細

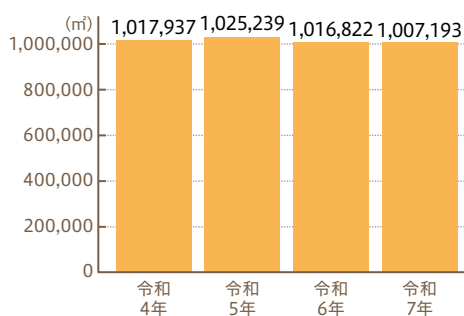
受託者人数



圃場数



面積



の自己改革

農業金融体制の強化 部門間連携とコンサルティング

農業融資担当者によるコンサルティング、営農経済部門の担当者（TAC）、農機担当者など部門間連携による農業者へのソリューション活動をより高い精度で行なっています。

総合事業の強みを活かした連携、
農家のニーズにあった資金やサービスを迅速に提供

融資担当者

農家

指導員

農機担当者

- 就農のための用地や設備、栽培への各種相談を資金面も含めて応談
- 就農後のアフターフォローも万全の体制

農業資金実行件数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
農業資金実行件数	80	77	70	74	71
農業資金実行金額	48,677万円	54,573万円	47,430万円	59,499万円	31,801万円

事業利用分量配当の実施

実施年月	配当金額	基準
令和8年7月	10,045,352円	肥料・農薬 購買金額に対して3%

生産資材等価格高騰への対応

世界的なインフレ等による資材高騰の影響を受けた方への円滑な資金対応として、利子補給や保証料助成を実施しました。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実績件数	28件	26件	41件
融資額総額	12,796万円	9,983万円	14,402万円

就農支援

新規就農者を確保するため、関係機関と連携し、相談者への土地や施設、農業機械の紹介など個別訪問を通じた就農支援を行っています。

	令和6年度	令和7年度
新規就農支援	3件	3件

組合員ニーズを重視した取り組み

生産コスト上昇に見合った販売価格の実現し、気象変動に応じた品種の提案や技術指導を行い、今後も重点課題と位置付け、継続して取り組んでいきます。



伊勢たくあん販売開始

NEW!

令和5年12月に発足した伊勢たくあんプロジェクト。昭和30年代をピークに明和町でも多く栽培されていた、伊勢たくあんの原料となる御菌大根を復活栽培し、令和7年度に念願の商品化をすることができました。協力いただいていた明和町や三重県漬物協同組合からは高い評価を受けています。



伊勢たくあんの原料である 御菌大根を作っています

御菌大根は繊維質が豊富で歯応えが良く
伊勢たくあんに最適。
乳酸発酵食品で健康志向にも合う伊勢たくあんが
伝統の食文化としてこ明和町に復興します。



加工用野菜の生産振興

加工・業務用野菜に対する需要が拡大する中、実需者ニーズに見合った作付け品目として「白菜」「キャベツ」の生産を推進し、農家経営の安定と所得向上に取り組みました。

成果指標		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
加工用野菜 (白菜・キャベツ)	生産面積	1,103アール	1,309アール	980アール	740アール
	出荷量	550.8トン	699.0トン	362.4トン	459.3トン
	販売高	2,489万円	3,146万円	1,664万円	2,056万円
	出荷者数	20人	19人	14人	13人

行政・普及センターやJA全農みえ、 肥料メーカーとの連携

地域農業をリードする担い手経営体を支援するため、農政・営農情報の提供、農業融資、農業リスク診断等の総合事業提案を行い、法人化や規模拡大、販路の拡大を支援しています。



JA 多気郡オリジナル

刈払機用チップソーを販売開始！

NEW!

金物のまち、兵庫県三木市の株式会社小山金属工業所と共同開発したオリジナルチップソーを販売開始しました。衝撃に強く、完全埋め込み型の高硬度特殊チップソーです。



の自己改革

水稻育苗担当者研修の実施

普及センターの職員を講師に迎え、担当職員を対象とした水稻育苗担当者研修を実施しました。育苗の知識を学び、より良い苗を生産者に提供することを目的として温度や灌水管理のポイントなど、データを元にした育苗管理について学びました。



再生二期作の試験栽培



JA多気郡では、子会社の(株)多気郡アグリサポートによる再生二期作の試験栽培を実施しました。再生二期作は、地球の温暖化傾向を逆手にとれる栽培技術で、春の気温上昇により田植えの時期を早められ、秋の気温上昇によって収穫時期を遅らせることができ、その結果、1回の田植えで2回の収穫を行う再生二期作が可能となるものです。



奥伊勢えごま倶楽部

山間地域における後継者不足の解消と、獣害に強く、高い付加価値を創造することができるえごまの栽培を開始、ソリューション(問題解決)からイノベーション(地域革新)へと繋げるその活動は、平成28年の発足から年々その活動の幅を拡充しています。



遊休地や
耕作放棄地の
解消

獣害に強い
えごまを栽培し
悩む生産者を
フォロー

ソリューション

地産地消
生産者の顔が
見える
取り組み

食育
学校給食への
取り組み



ラインを活用した営農指導員との連携

生産者と地域住民を繋ぐ拠点 農産物直売所スマイル



農産物直売所スマイルは多気町と明和町に2店舗を展開し、地場産農産物の直売店舗としてのこだわりを軸として、地域の多種多品目な農産物の生産者と地域住民を繋ぐ役割を担い、地域の特産品をアピールしています。また、出荷される生産者には、営農センターと連携した集荷支援も行なっています。

年間売り上げ金額「50万円以上」の出荷者数の推移

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
164人	171人	149人	170人	156人

スマイル売上高

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
4億8,059万円	4億8,543万円	5億26万円	5億3,910万円	4億7,952万円

スマイル来店客数

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
299,640人	294,464人	300,469人	300,757人	276,400人

会員制倉庫型店舗の商品販売

来店客の利便性向上と集客対策の一環として、会員制倉庫型店舗の商品を仕入・販売し、売上高の向上を図りました。



の自己改革

野菜ソムリエ有資格職員によるレシピ等の情報発信

野菜ソムリエの資格を持つ職員により、手作りレシピの配布設置や野菜の効能などを店内POPとして掲示したほか、店頭へ来られたお客様との直接対話で、高いリピート率や顧客満足度向上に繋がっています。



営農センターと連携した集荷支援

農業従事者の高齢化や後継者不足等により年々農産物の栽培面積が減少し少量多品目化が進む中、営農センターと連携し集荷を希望する会員宅へ伺っています。



自然の味処すまいる



地元食材を使用した季節メニューによる地場産農産物のPRや、隣接する農産物直売所マイル多気店での弁当や惣菜の販売により売上の底上げを行っています。また、恵方巻きの予約販売や土用丑の日のうなぎのかば焼き販売も定着してきました。今後も旬の食材を活かした新メニューの開発に引き続き取り組んでいきます。



女性部の活動

健康増進活動

組合員・地域住民等を対象に、女性の視点を活かした活動を推進し「食事・運動・健診」を柱に「JA多気郡健康寿命100歳プロジェクト」を中心とした健康づくりに取り組みました。また、旅行や料理づくりなど楽しむことでの心の健康維持にも努めました。



女性大学を開講

令和6年12月に開講した女性のための女性大学「JA多気郡～あぐりLady」。令和7年度は料理教室やマネー講座など計5回の講座を開催し、参加者から高い評価を得ています。



の自己改革

食農活動

地域の未来を担う子どもたちへ、食を支える農業の役割や地域の食文化、いのちと健康の尊さなどについて理解を深めてもらうための食農教育を女性部員や生産者の協力を得ながら実践しています。



女性部各支部合同 「ランチ反省会」

多気町のVISONと大台町のフォレストピアの2施設内のレストランで開催し、4日間で247名が参加しました。



ミセスクッキング多気



多気勢和支部管内のお料理グループが「ミセスクッキング多気」と新たなネーミングでスタート。伝統料理である「いばら饅頭」などを作り親交を深めました。



子どもたちの農業体験

子どもたちが田畑で実体験し、農作物がどのように育つのかを体感することで、農家さんの大変さや自然の尊さを学んでいます。



JA多気郡は自己

JA畑のイモ掘り体験フェスの開催

令和7年度で3回目となる「JA畑のイモ掘り体験フェス」。リピート参加されるファミリーも多く、回を追うごとに高い評価を得ています。動物とのふれあいコーナーを併設するなど昨年よりも規模の大きい開催となりました。



年金友の会 スペシャルイベントの開催 NEW!

年金友の会が主催するスペシャルイベントを昨年に引き続き開催しました。ものまねショーのほか、新たに特殊詐欺被害防止の演劇も行なわれました。



ぬり絵コンテスト

昨年に引き続きぬり絵コンテストを実施し、直売所への展示や優秀作品の表彰も行いました。



非常用電源を寄贈

昨年の簡易トイレに引き続き、明和町・多気町・大台町へ非常用電源を寄贈しました。



小学校に雑誌 「ちゃぐりん」を寄贈 NEW!

食農教育を薦める子ども向けの雑誌を多気郡管内の13の小学校に寄贈しました。



改革を継続します。

第11回ふれあいオンステージ



例年の歌謡ショーではなく、令和7年度は初めてとなる吉本新喜劇で楽しんでいただきました。JA多気郡公式マスコットキャラクター「たきモ」の初お披露目も行ないました。



感染対策委員会の発足



シルバーセンターすまいるでは、感染対策委員会を発足し、研修会を実施。手洗いの必要性や正しい手洗い方法を学び、手洗いチェッカーの導入による確認作業も行なっています。



JA多気郡満足度アンケート

今年で6回目となる満足度アンケートは、広報誌はばたき8月号に返信用ハガキを綴込み、各施設を利用されたお客様の声をダイレクトに吸収することで、改善点や要望などを集約し、満足度向上に繋げています。

よく利用される施設・サービスの番号を
ハガキにご記入ください。

- 密着センター (1. 明和・2. 多気)
- 農機センター (3)
- 農産物直売所スマイル (4. 明和・5. 多気・6. すまいる食堂)
- 真手給油所 (7)
- 葬祭センター (8. 虹のホール 明和・9. 虹のホール 多気・10. 虹のホール 鶴内・11. 自宅葬)
- シルバーセンターすまいる (12)
- コインランドリーあらいっこ (13. 明和・14. 多気・15. 川原)
- 精米代行サービス (16. 明和・17. 多気)
- (株)多気郡アグリサポート (18)
- 支店 (19. 明和北・20. 明和南・21. 多気・22. 多気勢和・23. 大台・24. 大台郡川)

スポンサー契約で 応援



JA多気郡は、管内を本拠地として活動する三重県一部リーグのソフトボールチーム「BLUE WAVE 三重SC」とスポンサー契約を結びました。選手の中には職員も所属しており、地域貢献に一役買っています。



コインランドリー あらいっこ多気 改修工事



利用者様の満足度向上のため、農産物直売所スマイル多気に隣接する「あらいっこ多気」の改修工事を行いました。

さつまいもを フードバンクに寄付

NPO 法人みんなの食堂こむすび舎めいわ町へ、今年で3回目となるさつまいもの寄付を行いました。



J A 多 気 郡 自 己 改 革 工 程 表

J A 多気郡は、これまで、組合員との徹底した対話に基づいて、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本計画とする自己改革の実践に全力で取り組んできました。令和4年度からは、自己改革実践サイクルの取り組みとして、組合員の声をふまえ、数値目標を含んだ自己改革の実践の具体的な取り組み等を毎年度の総代会で決定することで、着実に取り組んでいます。

この結果、平成31年に実施した「J Aの自己改革に関する組合員調査」等において、多くの正組合員から、一定の評価と自己改革への一層の期待、多くの准組合員から、総合事業への期待等の声をいただくことができました。

令和7年度からは、組合員との対話をふまえ、農業者の所得増大に向けて、コンテナ出荷の拡大や主力品目野菜の契約取引の拡大等、好評である取り組みを継続強化するとともに、J A経営基盤強化や組合員との対話・意思反映の取り組みもすすめることで、不断の自己改革によるさらなる深化を目指しています。

今後とも、J A多気郡は、地域になくてはならないJ Aであり続けるため、自己改革の実践を支える持続可能な経営基盤の確立・強化とともに、組合員との徹底した対話を通じ、総合事業を基本として「不断の自己改革」に取り組んで参ります。

自己改革を実践するための 具体的な方針

[下線項目はKPI設定]

- ① 訪問活動や懇談会を通じた「担い手との対話」を原点としてニーズを的確に把握します。
- ② 「農業者の売上増加・コスト低減」につながる担い手目線で必要な取り組みについて、目標及び実践具体策の策定等とあわせて実践し、改革の目的である「所得増大」を実現するほか、「地域の活性化」にも取り組みます。
 - 担い手経営体や中核的担い手などを対象として、次のことに取り組みます。
 - ① コンテナ出荷の拡大 ② 加工品・業務用野菜の導入
 - 中核的担い手や多様な担い手などを対象として、次のことに取り組みます。
 - 主力品目野菜の契約取引の拡大
 - 必要とする全ての者を対象として、次のことに取り組みます。
 - 銘柄集約肥料の取扱拡大
 - 農業経営支援のための資金提供として、次のことに取り組みます。
 - 農業者向け融資の拡大
- ③ 改革の取り組みと成果について対話等を通じて評価を把握し、次の改革につなげることで、PDCAサイクルを回し、不断の自己改革を着実に実践します。



自己改革の実践に向けた 組合員の意思反映

自己改革の実践にあたっては、改革の評価の把握に向けた正組合員との対話や懇談会のみならず、地域に根ざした「JA」を目指して直売所利用者モニターや広報モニター、組合員懇談会の仕組みを通じて「JA」事業の利用と協同活動への参加を通じて、農業・地域経済の発展を農業者とともに支えるパートナーである准組合員の声も聴くことで、正・准組合員が一体となった「JA」運営を実現します。

また、農業振興の応援団でもある准組合員の事業利用にあたっては、正・准組合員の利用状況を把握したうえで、改革の目的である「農業者の所得増大」につながるよう取り組みます。

JA多気郡白

農業者の所得増大・農業生産の拡大

コンテナ出荷の拡大を通じたコスト低減			令和7年度		令和8年度	令和9年度
対象者: 担い手経営体や中核的担い手など			想定	コスト低減効果	目標	実績
令和9年度	130t	1kgあたり 10～15円	120t	135t (112%)	125t	130t

これまでの取組概要と今後の計画

- 当JAでは、漬物業者向けの加工用白菜の出荷者に対してコンテナの貸出に取り組んでまいりました。
- 令和7年度においては、コンテナ出荷量は令和6年度実績を更新し、135tの実績となりました。
- 当該取り組みは、生産者から評価する声を頂戴しています。
- たけのこ、白ネギでのコンテナ出荷も行っており、より多くの生産者のコスト低減・省力化を支援します。



主力品目野菜の契約取引の拡大を通じた売り上げ増加			令和7年度		令和8年度	令和9年度
対象者: 中核的担い手や多様な担い手など			想定	売上増加効果	目標	実績
令和9年度	850t	1kgあたり 市場単価+1%	750t	459t (61%)	800t	850t

これまでの取組概要と今後の計画

- 加工・業務用野菜の需要が高まる中、契約取引により加工用 白菜に加え、加工用キャベツの生産を推進し、農業経営の安定と所得向上に取り組まれました。
- 生産者の減少により出荷数量が減少しましたが、今後も引き続き契約栽培取引により、組合員との対話を通じて、より安定した農業所得を確保できるよう努めます。



銘柄集約肥料の取扱拡大を通じたコスト低減			令和7年度		令和8年度	令和9年度
対象者: 担い手経営体や中核的担い手など			想定	コスト低減効果	目標	実績
令和9年度	12,000袋	1袋あたり 500～800円	11,000袋	8,052袋 (73%)	11,500袋	12,000袋

これまでの取組概要と今後の計画

- これまでに、銘柄集約による品目選定や大型ロットでの一括仕入れにより、安価での安定供給に努めました。
- 全国的に肥料価格の値上がりは落ち着きましたが、肥料設計の見直しと、銘柄集約させることでより大型ロットでの仕入れが可能となり、価格に反映させることができました。
- 今後も肥料の一括仕入れに向けた予約購買推進を図り、コスト低減に努めます。



農業者向け農業融資の拡大

高度な農業金融機能の発揮による農業者の成長支援		令和7年度		令和8年度	令和9年度
農業者向け事業融資の拡大(新規実行額)		目標	実績	目標	目標
令和9年度	2.0億円	2.0億円	3.2億円 (159%)	2.0億円	2.0億円

これまでの取組概要と今後の計画

これまでの取組状況

- 担い手リーダーの活動により、2名の新規就農者への資金供給を円滑に行うことができました。
- 農業メイン強化先については定期的な訪問、ソリューション提供活動により有効な資金支援ができました。

今後の具体的取組み

- 担い手リーダーを主体に、農業者や農業法人への担い手コンサルティング活動を行い、経営課題を深掘りし適切なソリューションを提供します。
- 資材高騰の影響により経営支援の必要な農業者に対して、新規貸付相談や償還条件の変更等の申し込みに真摯かつ適切な対応に努めます。

己改革工程表

不断の自己改革を支える経営基盤の確立・強化

今後5年間の収支見通し(成行シミュレーション)

- JA多気郡として、現状のまま事業改革を進めなかった場合の5年後の成行きについてシミュレーションを行うと、5年後には現在の事業利益に比べて、段階的に減少する見通しとなりました。
- 部門別損益では、主要部門における事業総利益の減少ペースが、事業管理費の減少ペースを上回る見通しとなっております。
- 今後は、事業管理費のさらなる削減を実行し、健全で持続性のある経営を確保することが緊急の課題となります。

経営基盤強化に向けた実践施策

部門	改善施策	取組みの詳細	目標値(または状況)				効果額
			令和7年度		令和8年度	令和9年度	
			目標	実績	目標	目標	
管理	地域の活性化に繋がる、遊休地(施設)の活用	遊休地活用による地域の活性化	検討	検討	検討	実行	—
管理	経営基盤強化に繋げる、更なる組織再編	組織再編による業務効率化	検討	検討	検討	実行	—

今後5年間の収支見通し(対策後シミュレーション)

- 当JAでは、持続可能な経営基盤の確立・強化に向けた主な戦略を上記のとおり策定しました。
- これらの施策から、成行シミュレーションより事業利益ベースで令和9年度に約12百万円の改善ができる見通しとなりました。

対話・意思反映

項 目	令和7年度		令和8年度	令和9年度
	計画	実績	計画	計画
組合員懇談会(出席人数)	180人	181人	180人	180人
支店運営委員会(出席延べ人数)	200人	183人	200人	200人
広報モニター(意見提出人数)	60人	34人	50人	60人
組合員アンケート(意見提出人数)	200人	138人	180人	180人

これまでの取組概要と今後の計画

① 組合員懇談会、支店運営委員会による対話

- 6月に総代懇談会、11月と2月に支店運営委員会を開催し、各地域の組合員から意見や要望等について収集し意見交換を行いました。
- 収集結果を取りまとめ、要望への対応を組合員・運営委員へフィードバックしております。

② 広報モニターの実施

- 当JAの広報活動にかかる課題を把握し、より良い情報提供や情報発信を行うため、組合員の声を取り組みに反映できるよう検討を進めてまいります。
- インターネットやSNSを活用し、幅広い年齢層へモニター協力の呼びかけを実施します。

③ 組合員アンケートの実施

- 当JAの組織・事業・活動にかかる課題を把握し、より良いJA運営を行うため組合員アンケートを実施しました。
- 収集結果を取りまとめ、要望への対応を広報誌を活用して組合員へフィードバックしております。
- 組合員アンケートを実施継続しながら、アンケートから得た内容を今後の事業改善や計画に反映し、引き続き自己改革を進めてまいります。



JA多気郡公式マスコットキャラクター
たきモ



表紙の写真

大台町 SUP・上

SUPとはStando Up Paddleboardの略で、水上で体験するアクティビティ。SUPのフィールドは、水の流れが非常に穏やかな日本一の清流宮川と奥伊勢湖なので、初心者の方やお子さま、ワンちゃんと一緒にでも安心して楽しむことができます。

多気町 VISON・左下

2021年にオープンしたVISION[ヴィゾン]。東京ドーム24個分の広大な敷地に、四季を感じるホテルや日本最大級の産直市場、薬草で有名な多気町にちなんだ薬草湯、和食の食材メーカーによる体験型店舗など人気の複合商業施設です。

明和町 大淀祇園祭

江戸時代中期に始まり、約270年の歴史を誇る大淀地区の伝統行事。宵宮・本宮では、三地区の山車が町を練り歩く「海上渡御」が祭り最大の見どころ。5年に一度開催される「三車揃い踏み」では、3基の山車が集結する誇り高き夏祭りです。

写真提供：ロカロカアクティビティ/三重フォトギャラリー/明和町観光協会



JA多気郡

〒515-0321

三重県多気郡明和町大字斎宮1831番地21

